

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習 II		
担当者(Instructors)	渡辺 弥生	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

## ■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)

本科目では卒業論文作成に向けて専門的な学びを深め、研究とは何か、研究の方法を学ぶ。前期の専門演習 I を基礎とし、より内容を深め、個人の研究テーマを絞り込み文献検討を行い研究計画書の作成を行う。後期ではグループで行った発表をテーマを個人で決定し実施する。

## ■ 授業形態・授業の方法 (Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	個人ワーク ゼミ内発表 ディスカッション 2回程度メディア授業 オンデマンド

## ■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	ガイダンスでは進め方の確認	<input type="checkbox"/>
第2回	看護、介護、保健について学びを深める	各自専門分野で関心のあるテーマについて学びを深め意見交換する	<input type="checkbox"/>
第3回	テーマを決めるため文献検討を各自行う 1	前期に集めた論文などを読み込み文献検討を行う 各自図書館など利用する。	<input type="checkbox"/>
第4回	テーマを決めるため文献検討を各自行う 2	前期に集めた論文などを読み込み文献検討を行う 文献の要旨をまとめる	<input type="checkbox"/>
第5回	テーマを決めるため文献検討を各自行う 3	前期に集めた論文などを読み込み文献検討を行う ゼミ内で意見交換する	<input type="checkbox"/>
第6回	先行研究について文献検索を行う 1	先行研究の文献検索を行い文献のまとめを行う テーマに沿ってさらに深める	<input type="checkbox"/>
第7回	先行研究について文献検索を行う 2	先行研究の文献検索を行い文献のまとめを行う 個人相談・指導を行う	<input type="checkbox"/>
第8回	グループ間で情報交換を行い、方向性を決めていく	各自行っている文献検討などについて情報を共有し意見交換を行う	<input type="checkbox"/>
第9回	個人ワーク	テーマを決定するため個人ワークを進める	<input type="checkbox"/>
第10回	研究計画書の作成 1	研究のテーマ、目的、方法、進め方等研究計画を行う	<input type="checkbox"/>
第11回	研究計画書の作成 2	研究のテーマ、目的、方法、進め方等研究計画を行う 個人相談・指導を行う	<input type="checkbox"/>
第12回	プレゼンテーション準備	ゼミ論、卒業論文など各自方向性を決め、プレゼンテーション準備	<input type="checkbox"/>
第13回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションを個人で行い共有する 質疑応答を行う	<input type="checkbox"/>
第14回	プレゼンテーション 2	プレゼンテーションを個人で行い共有する 質疑応答を行う	<input type="checkbox"/>
第15回	振り返り まとめ	前期の活動について振り返り、今後の展望についてディスカッションする。	<input type="checkbox"/>

## ■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)

各回の課題に応じて各自事前学習を 2 時間行う。事後は時間内に行えなかった文献の読み込み研究計画書の作成など 2 時間は自己学習を行う必要がある。

## ■ 課題とフィードバックの方法 (Assignments/feedback)

文献検討の内容は各自まとめていくため適宜提出してもらい評価、指導を行う。個人ワークでは学びを深めるためのアドバイスを行う。研究計画書では方向性の検討、役割、進め方など指導する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	保健やケアについて自ら課題を整理し、記述し、他者にわかりやプレゼンテーションを行うことができる。また他者の課題に質問できる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			10%	90%
<b>授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)</b> 1. レポート：テーマに沿ったレポートが作成できる。(50%) 2. プレゼンテーション：参加者に分かりやすい発表を行うことができる。(30%) 3. メンバーの発表に意見を述べるができる。(10%) 4. 参加姿勢：積極的に参加し、取り組むことができる。(10%)				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	文献検索を行い適宜配布	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	山口瑞穂子 ひとりで学べる看護研究 照林社	
2		
3		
4		
5		